



# きみかめ便り

～千葉県立君津龜山少年自然の家 所報～

## 12月号

ここ千葉県は日本でも最も遅い時期に紅葉が見られることで有名です。なぜ緑色の葉が、鮮やかな赤や黄色になるのでしょうか。それは、葉っぱの中の色素の量が変化するからだと言われています。

植物たちは寒く乾燥した冬を乗り切るため、葉に供給する養分をストップし落葉します。また訪れる春に備えてエネルギーを蓄えるのです。落葉する過程で、色素のバランスが変わり紅葉という現象が起こるわけです。生き残るための戦略といえるでしょう

それを、「今年の紅葉はいまいちだ」とか、「まあまあだ」と比べてしまいがちですが、植物たちにとっては毎々が勝負。命をかけた決死の作戦なのです。だからこそ、自然は美しく、人の感性を刺激します。きみかめ周辺の紅葉は11月下旬からです。是非、植物たちの命のドラマを感じてみてはいかがでしょうか。

毎年黄色に染まる「イチョウ」

指導室長 白井 健



## ある日のきみかめ ～利用団体レポート～

2014年11月12日～13日  
木更津市特別支援学級様  
(宿泊：研修106名、引率41名)



夜のつどい

### 研修内容

- 第1グループ：レクリエーション ⇒ レク・芝すべり ⇒ フォト撮影 ⇒ 夜のつどい (全体) ⇒ カレーづくり
- 第2グループ：ゲーム ⇒ 森のガッパハイク ⇒ 夜のつどい (全体) ⇒ カレーづくり
- 第3グループ：カレーづくり ⇒ フォト撮影 ⇒ レクリエーション・トランプ ⇒ 夜のつどい (全体) ⇒ ウォークラリー ⇒ 芝すべり、クイズ対決 (中学生)



### 今回どのようなことを工夫されましたか？

これだけの大所帯ですので、大きく3つの活動グループに分けました。個別、2グループ、全グループでの活動を組み合わせました。そして、他のグループと会場をパズルのように入れ替えました。というのも、時間・空間に追いつけられずと苦しいと感じる個性も持っている子どももいるため、興味・関心につながる時間と活動スペースを確保したかったからです。

また、毎年同じ子どもたちがきみかめに来ているので、隔年でプログラムを変えました。(例えばカレーづくりは、今年は1日目に変え、小学4年生から全員が体験しました。) 更に、第3グループでは、野外炊飯の直後、45分間の短いプラネタリウムを入れてもらい、動的な活動と静的なものを交互に組みました。他のグループも同様です。



### 毎年きみかめで実施されているのは、なぜですか？

子どもたちが心から楽しめる場所だからです。心が解放される広大なスペース、木更津市街にはない森というフィールド、芝滑りができる大きな「すり鉢」があります。また、教育方針が合っていて、子どもの自立を引き出せます(自分のことは自分で。自分でベットメイキングする。約束を守るなど) また、練習してから来られるので、子どもたちは成功体験を重ねられます。きみかめのスタッフにも特別支援学級の児童生徒について「理解してもらっている」と感じています。



### 今回、特に想いを込めた活動は？

夜のつどいです。全ての児童生徒が一堂に会して、短い時間で交流できるよう企画しました。手燭台は教員のお手製です。「手作りの会」にしたかったからです。子どもたちは、グループ毎にテーマソングを披露し、静かに揺れるキャンドルの光の下で、一日の感想を自分の言葉で発表し、聞きあいました。火を吹き消して「みなさんおやすみなさい。今日はがんばりましたね！」と、それぞれ部屋に戻りました。



### 宿泊を終えた子どもたちの様子は？

研修後、子どもは単純に「楽しかったな～」といますが、それはゲームの楽しさとは違い、「やって、できた!!」という体験からの「自信」が込められています。

## アクティビティ PICK UP!! 人気急上昇 『カモデコイ』



まゆげガモ

今月ご紹介する活動は、今年度きみかめで雨天プログラムとして大ヒットした「カモデコイづくり」です。千葉県産の間伐材・被害材(杉・竹)に約30%のプラスチックを加えてカモのかたちに型押しされたミニチュアデコイ(置物)に色を塗る活動です。

狩猟で使われる「おとり」のデコイさながら、観察して本物そっくりの色を塗っていくのが活動イメージです。ところが指導していると、見本をしっかり観察して塗るのは女子、男子は殆ど見本を見ず、奇想天外というか独創的なものを作る子が多いと感じます。写真(右)のように眉毛がプラスされた傑作もありました。

めがねガモ  
歌舞伎ガモ  
朝日ガモ  
といった新作が次々と登場しています。



僕はオニワンのカモデコイをつくっています!! 本当にカモがよってくるかな? ワクワクしています。



## お知らせ

### ☆H27年度のご予約

12月1日時点で  
県内団体様は

2015年12月31日迄の期間、  
県外団体様は8月31日迄の期間  
ご予約いただけます。

### ☆H26年度 冬季利用も 受付中です!

部活、サークル、卒論中間発表、学童、  
PTA、子ども会、ボーイスカウト、友達や  
家族の集まり、企業の内定者研修での  
ご利用いかがですか? 日帰りもOK。

冬季は、冬ならではの自然が満喫で  
きます。近隣の湖畔の冬景色や、溪谷の  
ツララ見物はいかがですか。霜も美し  
いです。温泉も随所にあります。

### ☆入浴について

ボイラー修理のため、2015年1月19  
(月)～1月26日(月)まで、大浴室  
が使えなくなります。人数や利用時間  
によっては身障者用浴室の開放を検  
討しますので、ご相談ください。近隣の  
温泉まできみかめ号での送迎も可能  
です。(※温泉代は利用者負担、バスの  
最終帰着は17:00迄です)

### ☆今後の主催予定

12月14日(日) 11:00～11:50  
松本ピアノプラネタコンサート  
(コンサート観覧は予約不要・入場無料)、  
1月18日(日) 星空観察会 12/20 予約開始  
1月28日(水) 上総七福神巡り ”  
詳しくはきみかめHPに掲載中です。



## 近隣団体 紹介

### ☆そば打ち体験 もみの郷さと 会所

山の分校の蕎麦や 樅の木庵 もみのきあん



12月といえば年末。年末と言えば「年越しそば」。12月30日迄「新そば」で、  
そば打ち体験ができる、大多喜町「旧老川小学校会所分校」をご紹介します。

#### ◇会所かいしょ地区

養老溪谷「粟又の滝」のさらに先、アジサイで有名な麻綿原高原「妙法生寺」  
の2.5km手前です。所から24.5km、車で37分。きみかめ号で送迎できる場所です!

#### ◇歴史

老川小学校(125年の歴史。昨年閉校)の分校として、昭和26年に始まり  
ました。会所分校は平成13年3月に閉校しましたが、木造校舎、教室がほぼそ  
のまま残っています。閉校を惜しみ、地域おこしをしようとする地元の人々が平  
成16年「そば打ち体験教室」と「蕎麦や」で分校を再スタートさせました。

#### ◇やってくる人々、ここで体験できること

親子、老夫婦、サッカー少年、大学生、ライダーさんなどが来ます。近くの内  
浦山県民の森のそば打ちイベントで使われることもあります。「段」をとるた  
め、東京から通い、終日修行する方もいます。車のナンバーをみると東京・  
神奈川、埼玉から来た方もいます。フェリーに乗って鎌倉や湯河原から来た  
という若いライダーさんもいます。人々の校舎を見つめる目が印象的です。

食すだけで十分という方は、石臼挽きたて、打ちたて、ゆでたてのお蕎麦を  
教室で堪能できます。地元の方が日々獣害と戦いながら「無農薬」で育てたそ  
ばです。蕎麦殻ごと挽きこんだ「田舎そば」がおススメです。そばをこねた清  
澄山系の「地下水」も美味さの秘訣。タンク持参で、そばを食べにきたのか水  
を汲みにきたのかわからないお客さんも結構おられるそうです。

かつてボーイスカウトの団キャンプ(総勢100名ちかく)で使われたこ  
ともあったそうです。(校庭にテントを張りめぐらし、ドラム缶風呂で入浴)

そば打ち体験は一度に40名くらい迄体験できます。土日祝日の営業で  
すが、3鉢(一鉢3500円、4～5人前)以上の申込であれば平日も応相談です。

#### ◇自然

6～7月上旬、湧水の森にホタルが舞います。  
夏には、近くの川(養老川源流付近)で遊べ  
ます。道が復旧すれば、2万株のアジサイを見に  
「妙法生寺」まで車で数分、歩いて45分で行けます。  
分校から勝浦ダム周辺の遊歩道・山道に入れ、  
眺望、豊かな植生を楽しめます。(内田)



お問い合わせ 電話 0470-85-0224  
もみの郷 会所運営委員会

## スタッフ リレー 紹介

～きみかめスタッフが他のスタッフを紹介するコーナーです～

●今月紹介するスタッフ  
は、きみかめが誇る生き字  
引、山崎明さんです。「さ  
んか付けで呼ぶのは恐れ多  
いので、ここからはいつも通  
り、「先生」と呼ばせて頂き  
ます。  
山崎先生は長年中学校  
で教鞭を執られ、蔵玉小  
学校の校長先生も務めら  
れたことがあり、地元亀  
山との繋がりもありま  
す。また、鴨川青年の家、  
大房岬少年自然の家など  
の青少年教育施設にも社  
会教育主事として長く勤  
められました。  
千葉自然学校が初めて  
指定管理者として大房岬  
少年自然の家の運営をす  
るにあたり、アドバイザー  
として、また研修所の所長  
として職員達を導いてく  
ださいました。

今月の人「山崎 明」  
Yamazaki, Akira



紹介した人 村岡宏樹



きみかめでも学校教育、青少  
年教育の視点からいろいろとア  
ドバイスをしてきています。プ  
ラネタリウムなどは投影はもと  
より機械に関わる事にも詳し  
く、メンテナンなども大活躍  
です。  
山崎先生の熟練の指導と最  
高の笑顔に出逢いに、ぜひきみ  
かめにお越しください。

### 千葉県立君津島山少年自然の家

所報 第68号 2014年12月  
292-0526 君津市笹字片倉1661-1  
TEL: 0439-39-2628  
FAX: 0439-39-2609  
E-mail: [info@kimikame.net](mailto:info@kimikame.net)  
HP: <http://www.kimikame.net>

Facebook: <https://www.facebook.com/kimikamesizen>  
Twitter: @kimikamesizen

「きみかめ」は千葉自然学校グループが  
県指定管理者として運営しています。



バックナ  
ンバーも  
ご覧い  
ただけ  
ます!